

1 FAIN(福岡県航空機産業研究会)

FAIN(Fukuoka Air Industry Network)は、航空機産業参入を目指す企業グループ。精密機械加工に加え、表面処理やウォータージェット加工、熱処理等、幅広い分野の県内企業が参画し、自動車・ロボット・半導体等といった業界で培った技術力を生かし、参入を目指している。

設立:平成30年7月

会長:(株)中島ターレット 代表取締役 中嶋 英二郎

会員:11社

事務局:福岡県商工部企業立地課内



FAIN について

2 日仏航空機産業・脱炭素勉強会(主催:経済産業省、仏航空総局)

経済産業省は、欧米政府・企業との協力枠組を構築し、日本企業と海外企業の連携強化を図っている。フランスとの連携では「脱炭素化」にフォーカスし、その一環として、本年12月にフランスで日仏政府主催の脱炭素勉強会が開催される。本勉強会では、日仏両国から中小企業10社(予定)が、脱炭素化をテーマとした技術プレゼンを行う。このうち2社が本県 FAIN 企業から選定された。

【勉強会の概要(予定)】

日程:2024年12月3日※世界最大規模の航空宇宙展示商談会「エアロマート・トゥールーズ※」に合わせて開催

場所:フランス・トゥールーズ

聴講者:日仏の航空機メーカー、Tier1サプライヤ

次第:①基調講演(仏代表)

②技術プレゼン(日仏の中小企業10社)

※積層造形技術、ロボット・自動化技術、リサイクル技術、AI技術、水素技術、電動化技術などを予定

③ネットワーキング

※エアロマート・トゥールーズについて

概要:エアバスの本拠地で開催される、民間・防衛航空産業の商談会。本年度で15回目の開催。

会期:12月4日~12月5日

規模:出展企業 1,200 社、来場者 4,000 人、商談件数 17,000 件、参加国 40 カ国 (全て予定)

3 脱炭素勉強会でのプレゼン内容(予定)

(1)株式会社 九州電化:

九州最大級のめっきラインを保有し、主にめっき加工を事業とする。次世代のエネルギーとして期待される水素は、 -253°C に冷却・液化することで1/800の体積にして運搬されるため、魔法瓶と同じ真空断熱構造のタンク内に貯蔵する必要がある。川崎重工業が開発した世界初の液化水素運搬船(すいそふろんていあ)に搭載された GFRP(ガラス繊維強化樹脂)へのめっき加工に当社の技術が採用された。さらに、同技術は、トヨタ自動車の水素燃料レーシングカーの液体水素タンクにも採用され、現在は航空機分野に挑戦している。航空機には CFRP(カーボン繊維強化樹脂)が多く使われており、フランスでの脱炭素勉強会では、次世代の水素航空機(水素タンク)への活用について PR 予定。

(2)株式会社 戸畑製作所:

国内をはじめ世界の鉄鋼メーカー向けに高炉用・電気炉用純銅製品を製造。環境負荷低減のための軽量化素材としてマグネシウムに注目。マグネシウムは実用金属のなかで最も軽くアルミニウムの重さの約2/3であり、比強度(単位重量当たりの引っ張り強さ)に優れる一方、燃えやすい性質を持っているが、開発した難燃性マグネシウム合金はこの燃えやすいという課題を克服した画期的な材料。また、製造時に不活性ガスが不要であり、リサイクル性にも優れ、環境にやさしい素材。現在、新幹線内部材として実用化されており、フランスの脱炭素勉強会では、軽量化が求められる航空機への活用について多品種・複雑形状が可能な金属 3D プリンターを活用した開発事例などを PR 予定。